

ふりかえりプリント 9月第4週④

答えのらんをうしろからおってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

A 数と計算

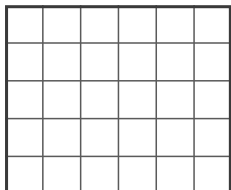
① 計算をしましょう。

$$25 \div 4 = \boxed{}$$

$$38 \div 5 = \boxed{}$$

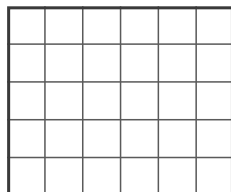
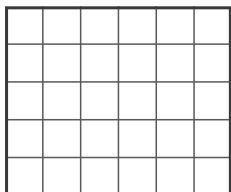
② 筆算でしましょう。

$$96 \div 24 \text{ 答え } \boxed{}$$



③ 筆算でしましょう。

$$3.5 \times 4 \quad 0.8 \times 6$$



④ 16と24の最大公約数はいくつですか。

答え

B 図形・量と測定

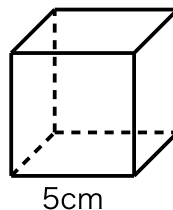
① 1kmは何mですか。

答え

② たて7cm、横9cmの長方形の面積は何 cm^2 ですか。

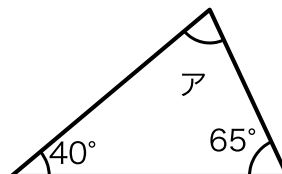
答え

③ 1辺が5cmの立方体です。体積は何 cm^3 ですか。



答え

④ 角アの大きさは何度ですか。



答え

C 変わり方と割合

① 5cmの3倍は何cmですか。

答え

② 20cmのゴムをのばすと60cmになりました。何倍にのびましたか。

答え

③ ぼうの長さとしは比例します。長さが6mのとき、重さは何kgですか。

長さ (m)	1	2	3	4
重さ (kg)	3	6	9	12

答え

④ 3mの1.5倍は何mですか。

答え

⑤ みかんが12こ、りんごが8こあります。みかんの数は、りんごの数の何倍ですか。

答え

こたえ (おもて)

A

① $25 \div 4 = 6$ あまり1
 $38 \div 5 = 7$ あまり3

② 4

③ $3.5 \times 4 = 14$
 $0.8 \times 6 = 4.8$

④ 8

B

① 1000m

② 63cm^2

③ 125cm^3

④ 75度

C

① 15cm

② 3倍

③ 18kg

④ 4.5m

⑤ 1.5倍

まちがえた問題は
消さずに、赤で書き
なおしましょう。

5年9月4週 (4) |
①=3年 ②=4年 ③
から=5年
(Cは⑤まで)

5-09-4-4 v6



まちがいを見つけたら
教えてください

公倍数が、暮らしの中にある場所

名前

音読サイン

駅前のバス停に、二つの路線のバスが来ます。一方は十二分おき、もう一方は十八分おきです。二台が同時に出発したあと、次に二台がそろうのは何分後でしょうか。

十二の倍数は、十二、二十四、三十六、四十八と続きます。十八の倍数は、十八、三十六、五十四です。どちらにも出てくるいちばん小さい数は三十六。三十六分後に、二台はまたそろいます。

十二と十八では、三十六が最小公倍数です。同じ考え方は、歯車の設計にも使われます。歯の数が十二と十八の歯車をかみ合わせると、三十六個ぶん回ったところで、はじめと同じ歯どうしが出会います。歯のすり減りをならすため、あえて公倍数が大きくなるような歯数が選ばれることもあります。

うるう年も、四年に一度と百年に一度の決まりが重なるところで、例外が決まります。周期の重なりを読むことは、先の予定を立てることそのものです。

公倍数は、計算のための道具として教科書に出てきます。けれども、もともとは「いつまた出会うか」を知りたいという、暮らしの中の問いから生まれたものです。

(1) 「周期」の意味に合うものを一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア 最初の一回

イ 終わりの合図

ウ 道の曲がり

エ 同じことがくり返される間かく

(2) 十二分おきと十八分おきのバスが次にそろうのは、何分後ですか。一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア 二十四分後

イ 三十六分後

ウ 五十四分後

エ 二百十六分後

(3) 公倍数の考え方が使われている道具として挙げられているものは何ですか。文章から二字で書きぬきましょう。

(4) 筆者は、公倍数はもともと何から生まれたと言っていますか。文章の言葉を使って書きましょう。

書くときのポイント

「くから生まれた。」でおわらせる。

「暮らし」という言葉を使う。

こたえ (うら)

問1 エ

問2 イ

問3 歯車

問4 (例) 「いつまた出会うか」を知りたいという、暮らしの中の問いから生まれたと言っている。

〈○のつけ方〉

問1～問3は、答えとびったり同じなら○。問4は〈いつまた出会うか〉か〈暮らしの中の問い〉が書けていれば○。

5-09-4-4 v6

5年 説明文